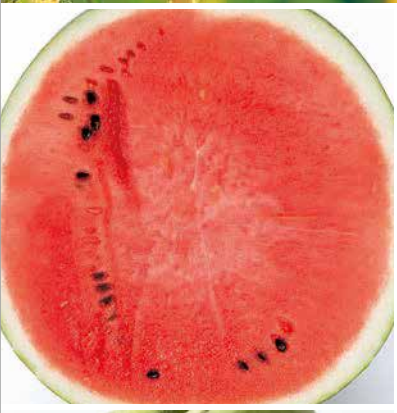
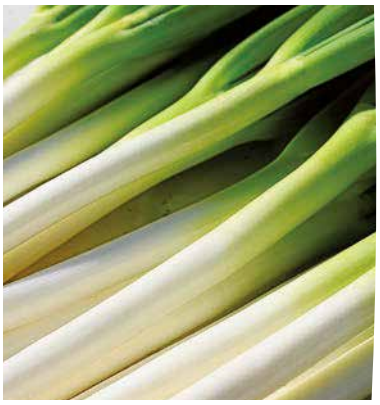






# 2026
# 事業案内

JA全農あきた
全国農業協同組合連合会秋田県本部

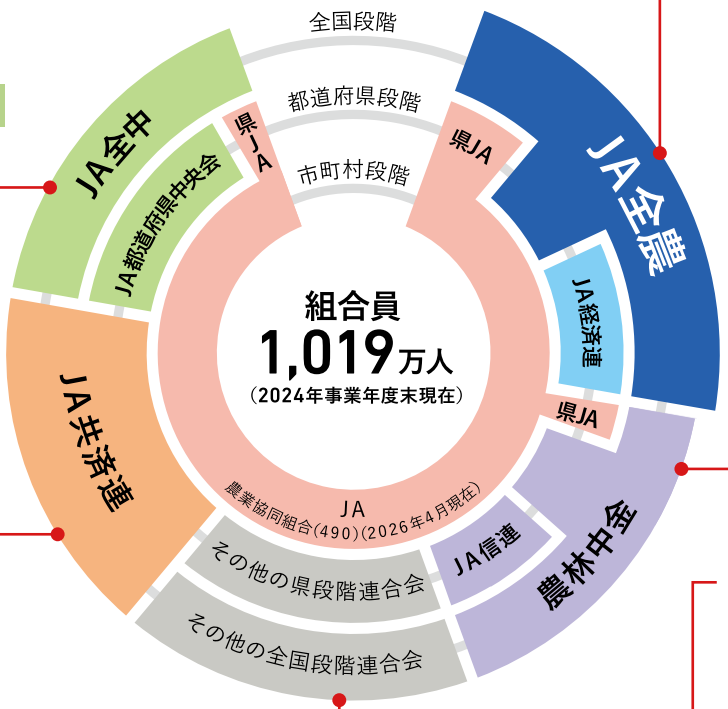
# JAグループ組織

経済事業

全農 ZEN-NOH

## JAグループで経済事業を担っているのがJA全農です

JAグループの経済事業を担うJA全農は、組合員の生産した農畜産物を消費者に届ける「販売事業」と組合員に必要な生産資材を供給する「購買事業」を行っています。
JAなどと協同してスケールメリットを生かした競争力ある経済事業活動を展開し、組合員の農業所得の増大や農業生産力の拡大を支援していくこと、さらには事業活動を通じて国民への食料供給を果たしていくことがJA全農の役割です。




代表・総合調整・経営相談事業

### JA全中

JAグループの意見を代表・総合調整し、組織、事業および経営に関する相談に応じる。

共済事業

### JA共済

相互扶助(助け合い)の事業理念に基づき生活を取り巻くさまざまなリスクに備える保証を提供する。

信用事業

### 農林中央金庫

NORINCHUKIN

農林水産業者、農林水産業に関連する企業などに対する各種金融サービスを行う。

その他の事業

厚生事業、新聞情報事業、出版・文化事業、旅行事業を行う。(日本農業新聞・家の光協会・農協観光・JA全厚連・JA厚生連)

# 全農グループ経営理念

私たち全農グループは、
**生産者と消費者を**
**安心で結ぶ懸け橋**
になります。

### 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農の生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

# JA全農あきた

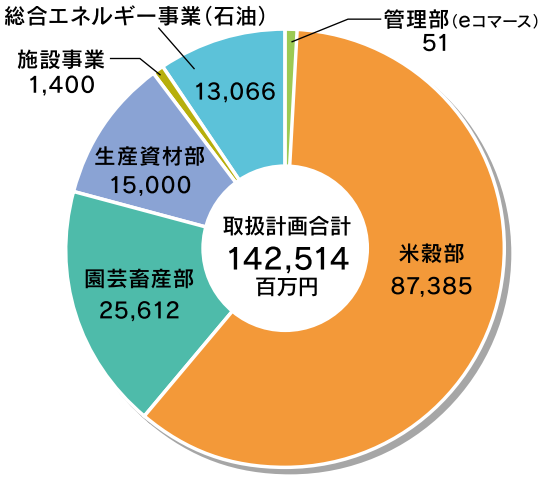
## 概　要

名　　称／全国農業協同組合連合会秋田県本部（愛称：JA全農あきた）
沿　　革／昭和27年7月 秋田県経済農業協同組合連合会発足
　　平成14年4月 全国農業協同組合連合会と合併
管内ＪＡ数／12JA（令和8年4月1日現在）
事業区域／県内一円
職　員　数／227人（令和8年4月1日現在）
県外事務所／1カ所
センター数／2カ所
事業取扱高／1,425億円（令和8年度計画）

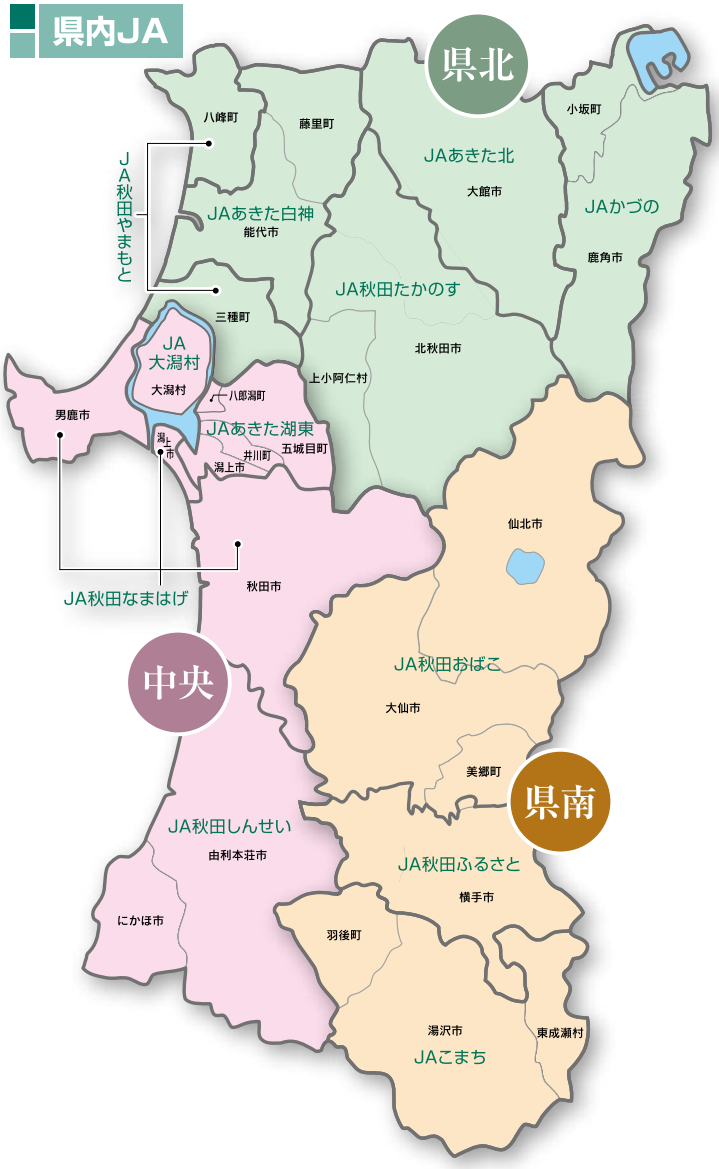

県本部運営委員会
会長 小松忠彦


県本部運営委員会
副会長 齊藤武志

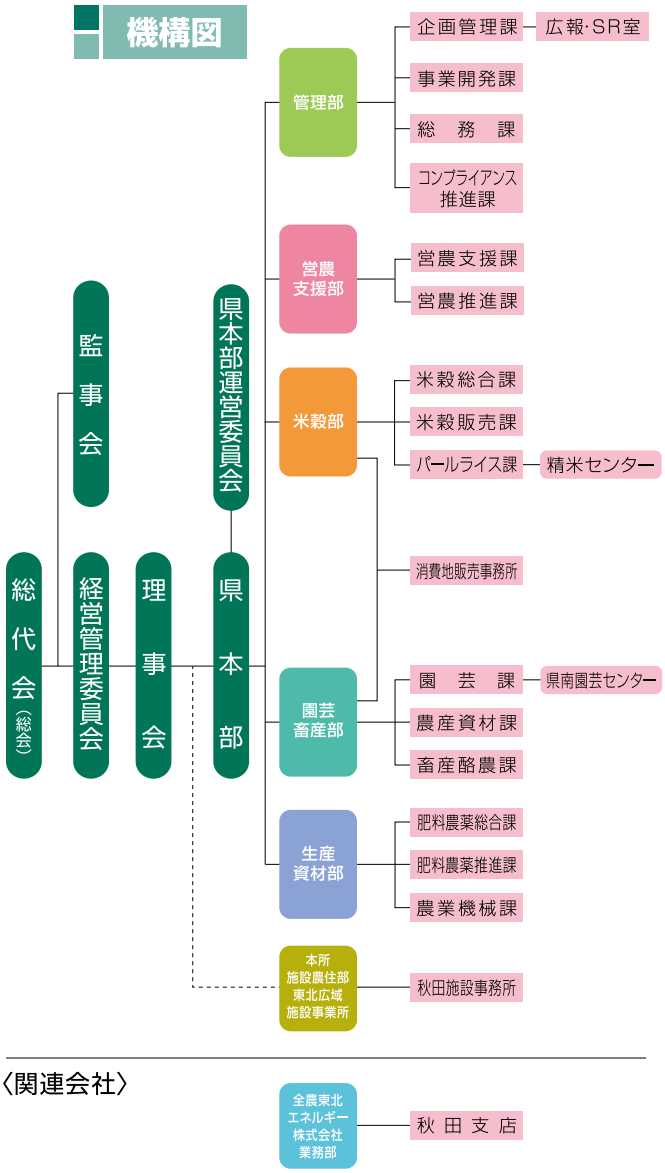

県本部長
椎川　浩




## 県内JA




## 機構図




〈関連会社〉

全農東北エネルギー株式会社 業務部 ― 秋田支店

# 米穀部

～おいしい秋田米を全国のみなさんへ～




米穀事業では、生産者の安定した営農計画づくりの支援に向け、販売先（実需者）に結びついた事前契約の維持につとめるとともに、「あきたｅｃｏらいす」等の付加価値米や多収品種の生産提案をすすめています。

販売促進活動では、これまでの店頭販促に加え、SNSやデジタル広告による秋田米の情報発信を強化しています。また、令和４年にデビューした「サキホコレ」については秋田米トップブランドとしてブランド米市場への定着をはかり、「あきたこまち」とあわせ秋田米の販売力強化につとめています。

また、水田活用米穀では、継続的な供給につながる実需者との連携強化に取り組んでいます。

精米販売では、本会精米センターにおいて、精米ＨＡＣＣＰ等の取り組みの継続による信頼される製品づくりをもとに、大手量販店や業務用向けだけでなく、インターネットでの販売も強化し、県内外に精米をお届けしています。


稲の生育と栄養状態を調査


精米センター

# 消費地販売事務所

～秋田県産農産物の県外販売拠点～



米穀部門と園芸部門の県外販売拠点として、県産農産物の取引先（米穀卸・青果市場等）への日常推進とあわせて消費地の販売状況や消費動向をタイムリーに産地へフィードバックしています。また、百貨店・量販店といった実需者のニーズを的確に捉え、販路拡大に向けた推進・提案をおこなっています。

# 園芸畜産部

～県産農畜産物の消費・販路拡大と物流課題への対応～



あきたフレッシュ大使による試食宣伝会

園芸事業では、生産基盤の拡充と単収向上対策をＪＡ・県行政と連携をはかりながら取り組み、取扱数量の拡大と販売力の強化につとめるとともに、秋田ブランドの確立に向け、県内・首都圏を中心に消費宣伝活動をおこなっています。また、物流課題については、持続可能な青果物輸送の確立に向け、パレット輸送等の取り組みをおこなっています。

農産資材事業では各種資材の安定供給に加え、低コスト・省力化資材ならびに鮮度保持や環境に配慮した資材の普及・拡大に取り組んでいます。

畜産酪農事業では、生産基盤の維持と経営安定に向けた支援をすすめるほか、良質で安全な牛乳を消費者へ提供しています。



県南園芸センター


園芸メガ団地


パレット輸送等の取り組み

# 営農支援部

～担い手の課題解決に向けた支援～

営農支援事業では、担い手・農業法人等に出向く活動をつうじた営農にかかわる業務や、TAC（地域農業の担い手に出向くＪＡ担当者）活動への支援により、多様な意見・要望をＪＡグループの事業に反映させ、農業現場が抱える課題への対応に取り組んでいます。

また、園芸作物の生産導入や単収向上につながる生産振興の取り組みを継続するとともに、営農技術（各種農業ＩＣＴ等含む）の普及をすすめています。


農機大展示会ブース

# 生産資材部

～生産コスト低減対策の実践～

肥料農薬事業では、安全・安心で高品質な農産物の生産および多様化するニーズに対応する資材を、ＪＡをつうじて生産者に供給しています。さらに、省力化が期待できる資材の推進や資材コスト低減に向けた肥料銘柄の集約による集中購買・担い手直送規格農薬などの提案、適正な施肥・防除指導等に取り組んでいます。また、物流・受発注業務の効率化として肥料パレット物流や受発注センターシステムの導入に取り組んでいます。



全農肥料パレット物流の導入


大規模経営体への直行配送

農業機械事業では、トラクターや田植機、コンバインなどの農業機械を供給しているほか、ICT搭載農機の情報発信により、スマート農業に対応した農業機械の普及を促進しています。また、生産コスト低減につながる共同購入コンバインを推進し、生産者の営農を支援していきます。


共同購入コンバイン



生産資材コスト低減への取り組み

本所　東北広域施設事業所

# 施設事業

施設事業は、東北5県を統括する東北広域施設事業所による事業展開をつうじ、農業・生産・流通の効率化につながる施設の建設、設計監理および既存施設の補改修に取り組んでいます。


JA多機能型低温倉庫

全農東北エネルギー株式会社

# 総合エネルギー事業

総合エネルギー事業は、東北エリアを統括する全農東北エネルギー㈱での事業展開により、ガソリン・灯油・軽油・ＬＰガス等、生活や営農に欠かせない燃料を供給しています。

また、「ＪＡでんき」として小売事業も展開し、営農施設のほか、組合員の家庭向け電気の供給もおこなっています。



JA-SSセルフ店

JAでんき　JAクミアイプロパン

# 本会事業とSDGsとの関連

本会事業の
各分野において、
SDGsに貢献する
取り組みを
展開しています。



県農業労働力サポートセンターを通じた労働力確保対策への支援



環境と農業の関係を考える「田んぼの生きもの調査」



営農管理システム
「Z-GIS」や「ザルビオ」などの普及促進



環境保全型農業の推進として「あきたｅｃｏらいす」等の生産提案



一般社団法人フードバンクあきたへ県産食材を提供



精米HACCP認定工場としての食品安全・品質管理・衛生管理



規格外等のりんごやトマトを原料としてジュース加工を実施



圃場での自然分解が可能な生分解性マルチ資材など環境に配慮した資材の普及



農作業省力化や高品質化に向けた果樹園での自動草刈り機の実演



土壌分析の実施による環境にやさしい土づくりの実践



スマート農業（省力化・高品質生産）に対応した農業機械の提案



農業用ドローンの普及促進に向けた展示会と実演会の開催



ブラウブリッツ秋田×JA全農あきた「元気わくわくキッズプロジェクト」



小学生向け食農教育補助教材の作製・贈呈



全農杯全日本卓球選手権大会への協賛

## 県内スポーツチームとの連携

秋田県内のスポーツチームのユニホームスポンサーを務め、県産農畜産物の販売拡大に資するPRを実施しています。



プロバスケットボールBリーグ
秋田ノーザンハピネッツ



サッカーJ2リーグ
ブラウブリッツ秋田



ラグビートップイーストリーグBグループ
秋田ノーザンブレッツRFC

# 秋田県農業への理解醸成活動

その“ひとくち”が秋田の農業への
エールになる！

eat AKITA プロジェクト
PROJECT

食べて、飲んで、応援しよう！

盛りあげよう！秋田の農業！

©zennoh

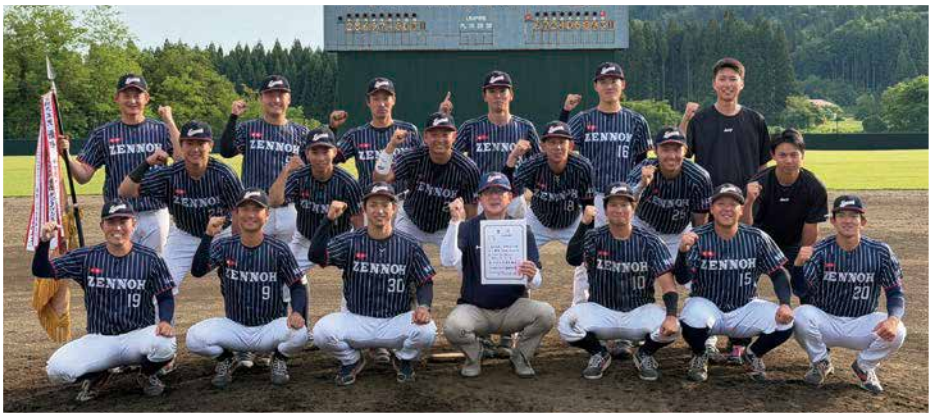
JAグループ秋田・JA全農あきたは、生産者の営農を支え、生産された農畜産物を消費者の食卓にお届けすることを担う団体として、生産者と消費者の双方が「秋田の食」を接点につながり、支え合い続けられるように、「eat AKITA（イートアキタ）プロジェクト」を展開しています。

JAグループ秋田・JA全農あきた
あきた園芸戦略対策協議会／秋田県牛乳普及協会



eat AKITAプロジェクト
特設サイトはこちら

# その他の活動紹介



JA全農あきた 野球部　天皇賜杯や国体など、全国大会への出場を目指して活動しています。
学生世代を対象とした野球教室にも取り組んでいます。



JA全農あきた
卓球部

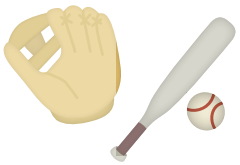
職員の交流を目的に
活動しています。



秋田竿燈まつりに
毎年参加しています。



JA全農あきた
パールライスクラブ



# ホームページ・SNS広報活動

## ホームページ

### JA全農あきたホームページ



### JA全農あきたのインターネットショッピングサイト

おいしい日本と暮らそう JAタウン　おらほの逸品館

JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」では、全国各地から旬の農畜産物・特産品をお届け！
JA全農あきたのショップ「おらほの逸品館」では、秋田米、旬の果物・野菜など秋田のうまいものを販売しています。



## JA全農あきた公式インスタグラム公開中

### 秋田の農業応援団

JA全農あきたの取り組みをはじめ、
秋田の農畜産物に関する情報を幅広く発信しています。

JA_ZENNOH_AKITA

### 美人を育てる秋田米

秋田米に関する情報を皆様にお届けします。

BIJINAKITAMAI

## 事務所・センター【所在地】

■〒010-8558　秋田市八橋南二丁目10-16

| | | | |
|---|---|---|---|
| 管理部 | 企画管理課 | ☎018-864-2421 | FAX018-864-2028 |
| | 事業開発課 | ☎018-864-2435 | FAX018-864-2028 |
| | 総務課 | ☎018-864-2401 | FAX018-864-2444 |
| | コンプライアンス推進課 | ☎018-864-2426 | FAX018-864-2444 |
| | 広報・SR室 | ☎018-864-2422 | FAX018-864-2028 |
| 園芸畜産部 | 園芸課 | ☎018-864-2491 | FAX018-864-2516 |
| | 農産資材課 | ☎018-864-2450 | FAX018-864-2515 |
| | 畜産酪農課 | ☎018-864-2501 | FAX018-864-2515 |

■〒011-0901　秋田市寺内字神屋敷295-53

| | | | |
|---|---|---|---|
| 米穀部 | 米穀総合課 | ☎018-845-8030 | FAX018-880-1572 |
| | 米穀販売課 | ☎018-845-8040 | FAX018-880-1571 |
| | パールライス課 | ☎018-845-8000 | FAX018-880-1560 |
| | 精米センター | ☎018-857-3570 | FAX018-857-4589 |

■〒019-0508 横手市十文字町十五野新田字梨木境13

| | | | |
|---|---|---|---|
| 園芸畜産部 | 県南園芸センター | ☎0182-42-0074 | FAX0182-42-1006 |

■〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-24

| | | | |
|---|---|---|---|
| 営農支援部 | 営農支援課 | ☎018-880-1011 | FAX018-880-1013 |
| | 営農推進課 | ☎018-880-1012 | FAX018-880-1013 |
| 生産資材部 | 肥料農薬総合課 | ☎018-880-1621 | FAX018-857-2236 |
| | 肥料農薬推進課 | ☎018-880-1624 | FAX018-857-2231 |
| | 農業機械課 | ☎018-880-1622 | FAX018-857-2232 |
| 本所 | 東北広域施設事業所<br>秋田施設事務所 | ☎018-880-2311 | FAX018-847-6271 |

■〒108-0075 東京都港区港南一丁目6-41 芝浦クリスタル品川2階

| | | |
|---|---|---|
| 消費地販売事務所 | ☎03-5843-4275 | FAX03-5843-4276 |

■〒010-1633　秋田市新屋鳥木町1-41

| | | | |
|---|---|---|---|
| 全農東北エネルギー株式会社 | 業務部 秋田支店 | ☎018-888-8950 | FAX018-828-9200 |

●JA全農あきたホームページ
https://www.zennoh.or.jp/ak/

JA全農あきた
**全国農業協同組合連合会秋田県本部**

2026.08





